

第8回三者懇談会議事要旨（西山田保育園）

- 1 開催日時 令和5年1月21日（土） 午後7時～午後8時
- 2 開催場所 西山田保育園 遊戯室
- 3 出席者 西山田保育園保護者会会長、その他保護者12名（Zoomでの参加者数は約35名）
社会福祉法人耕心会（耕心会事務長、西山田保育園長、主任保育士1名、保育士1名）
吹田市児童部職員（児童部長、児童部次長（子育て政策室長）、子育て政策室参事、保育幼稚園室参事、子育て政策室主幹、子育て政策室主任）
- 4 議題
 - 1 職員体制等についての報告、質疑応答
 - 2 セキュリティ、夏祭りについて意見交換
 - 3 アンケートに対する回答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第8回三者懇談会を開会いたします。
開会に当たりまして、児童部長から御挨拶申し上げます。

児童部長： 今回の三者懇談会では、社会福祉法人耕心会から、職員体制等についての御報告をいただきます。次に、セキュリティ対策や夏祭りについての意見交換を行い、最後に、保護者会で実施いただきましたアンケートに対する回答の報告をさせていただきます予定です。

忌憚のない意見を出し合って、明日以降、西山田保育園を中心にして、子供たちが健やかに育つ環境を三者でしっかりと理解し、その環境を整え、子供たちの成長を促し見守っていきたいと思っております。有意義な時間にしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2 出席者紹介

吹田市： 出席者の御紹介をさせていただきます。

(出席者紹介)

吹田市： 保護者代表の方から、一言お願いします。

保護者： 西山田保育園の先生方には、子供たちがいつもお世話になりありがとうございます。

今年度は、保護者会として、クラスの親睦会や夏祭りなどを開催させていただきましたが、公立園ではコロナの影響もあって、そういったことができないところもあると聞いています。西山田保育園ではお認めいただいて、今年、そういった活動をたくさんできており、本当に感謝しております。

本日は、保護者が今、一番に不安に思っている職員体制のことや、今後のことについてお話をさせていただけるということで、ありがたい機会だと思っております。良い会になればと思っておりますので、よろしくお願いします。

3 職員体制等についての報告、質疑応答

吹田市： 西山田保育園につきましては、令和2年4月から公立保育園から移管しまして、社会福祉法人耕心会により運営が行われております。

この度、令和4年度の職員体制について、年度途中の退職による職員の入れ替わりがあったことに伴って、保護者会から、保育への影響を心配するお声をいただき、保育士配置及び保育の状況等の確認を行うため、三者懇談会を開催する運びとなりました。

職員体制に変更があった経緯や今後の職員体制の見込みなどについては、参考資料1を作成していただいておりますので、初めに耕心会から説明をお願いいたします。

耕心会： 2020年4月から移管がスタートしまして、今年度で3年目を迎えることとなります。これまで、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々の御理解と御協力があって、日々保育ができていることに本当に感謝を申し上げます。

今年度につきましては、まず園長及び主任が交代となり、新しい体制でのスタートとなりました。交代につきましては、コロナ禍の中、法人全体の職員体制の問題があり、大変心苦しいと感じながら、変更をさせていただきました。

後任につきましては、外部ではなく、現場経験も豊富で、合同保育の職員でありました難波園長を中心に、安全・安心な保育と引継ぎを両立することを目指して、西山田保育園の運営をさせていただきました。

しかしながら、様々な部分で御心配をおかけし、今日、三者懇談会を開催するこ

とになりまして、本当に大変申し訳なく思っております。

今日いただいた御意見を真摯に受け止めながら、丁寧にいろいろと御説明をさせていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

耕心会： 本日は、先日に、かけはしの役員の皆様が取りまとめていただいたアンケートについて、吹田市で回答を集約されましたので、その意見一つ一つに丁寧にお答えしようと思いましたが、新型コロナウイルス感染症対策の関係上、時間が限られておりますので、申し訳ございませんが、書面で回答をお配りさせていただいております。

中でも一番、皆さんが不安に思っておられる職員体制につきましては、私から直接、丁寧に説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

今年度は何よりも、途中退職者を3名も出してしまい、本当に申し訳なく思っております。保護者の皆様は大変不安な気持ちになったでしょうし、子供たちもちろん戸惑いがあったことと思います。

特に、らいおん組の保護者には、保育園生活での最後の1年になるということを考えると、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

現在は、宮崎先生、木村先生、土屋先生、新井先生、羽立先生の5名が入職し、職員体制は整っていますが、人数的には正直厳しい時期もありました。詳細は本日配らせていただいた資料に書かせていただいておりますが、まずはその経緯を説明させていただきます。

まず、3年前に、公立園から民営化されて、引き継がれたことを大事にして、保育を行ってきました。その中でも、新型コロナウイルス感染症の影響がすごく大きかったと思っております。引き継がれた内容をそのままに進めることがすごく難しく、どのように公立園での保育を継続させていくかということが、会議の中心だったように思います。

また保育の中でも、制限をかけられることが多かったり、消毒作業が増えたり、本当に苦しい2年間を歩んできたのは事実です。今年で3年目を迎え、新型コロナウイルス感染症への対策も少し緩和される中、私が園長として一番目指したかったのは、日々の当たり前を見直していこうということで、職員に問いかけました。

業務、書類作成、掃除も含めていろいろありますが、過去の取り組みをそのまま行うのではなくて、見直せばもっと良くてできるということで、そのような視点でとにかく続けてきました。

実際に職員からは、会議を見直したりしたことで、個人の時間や時間的ゆとりがすごく増えてありがたいですという意見ももらっております。

ただ一方で、全員で集まる機会が減ったことで、コミュニケーション不足や、共有意識のずれが生まれてしまったと思っております。このようなことが退職に影響

したのではないかと、今思っております。

すぐに改善に向けて取り組みました。みんなで集まって共有することは大事だということを確認し、15分会議というものを取り入れました。それは、必ず毎日全職員が、お昼の時間に、たとえ15分でも集まって、今日こんなことがあったということ共有しながら進めてきました。

また、会議ばかりではなく、ホールを使って職員でリズムをして、指導のポイントを確認するなど、そういったことも取り入れながら、みんなの気持ちが一になることを目指してきました。これからもそういう交流の機会は大事にしたいと思っていますし、運動会でも、みんなの気持ちを一つにするということが大きなテーマでしたので、そういった部分に関しては、みんなで取り組めたのではないかと思っています。引き続き取り組んでいきたいと思っています。

次に、退職者について説明させていただきます。

まず、1歳児クラスのうさぎ組の田邊先生が7月11日に退職し、フリーの三上先生が入りました。この時点ですぐに新たな職員募集はかけていましたが、なかなか採用にはつながらず、マイナス1名という状況が続いてしまいました。

続けて、5歳児クラスのらいおん組の田中先生が7月15日に退職され、フリーの藤田先生が新たに担任になりました。田邊先生、田中先生は、公立園の引継ぎ職員として、私も同じ立場で共に力を合わせてきた仲間でもありますので、保育の話もよく一緒にしました。それだけに、この二人の退職は非常にショックでした。

こうした事態に対して、私もこの立場を初めて経験させていただいて、どのように対処するのかすごく迷いました。なぜなら退職にはいろんな理由があって、個人的な情報も含まれるので、それをどこまで伝えるかということがあったからです。

保護者会を開くべきなのか、説明はどういうふうにするのか、本当にいろんなことで迷ったのですが、最終的には紙を張り出して退職することをお知らせすることで終わってしまいました。

例えば、この時点で、次の担任は誰ですとか、子供たちのへのフォローはこのようにしていきますとか、今後の見通しはこうですということについて、私の口からしっかり説明できていれば、不安はもう少し変わったのではないかと考えています。この点については私の判断ミスだと思っています。本当に申し訳ございませんでした。

そして、ようやく8月17日に宮崎先生、続けて、9月21日に木村先生が入職し、主に1歳児クラスに入ってもらっています。この時点では、人数的に4月と同じになっております。

しかし、10月28日に新田先生が退職されました。これまでの反省も踏まえながら、新田先生には同意を取った上で、個人的な事情も本人が直接伝えたいということでしたので、クラスの保護者の皆様には、退職理由を説明させていただきました。

た。

新田先生の代わりに三上先生に入ってもらいましたが、三上先生を新担任として発表しなかったのには園としての理由があります。これまで半年以上経過しており、子供たちは新田先生や東先生としっかり関係を作ってきましたので、子供たちはやっぱり新田先生、東先生が私たちの先生だという思いがあり、そのことを大切にしたいからです。

また、残された東先生がそのままクラスを引っ張っていく方が、クラス運営がうまくいくと思ったからです。

しかし、保護者の皆様には、この時点でも、交代でフリーの職員がフォローに入りますと、曖昧な形でお伝えしてしまったことで、担任はどうなるのだろうか、しっかり入ってくれているのだろうかということで、不安もあったかと思えます。

私の思い、園としての思いということも、同時に保護者の方に発信すべきだったのではないかと考えております。

続けて12月には、2歳児クラスのぺんぎん組の近藤先生が、1か月間、検査入院をしましたが、12月1日には土屋先生が入職しており、ぺんぎん組のフォローに入ってもらっています。

1月には近藤先生も復帰しましたが、今度は0歳児クラスのひよこ組の中川先生が産休に入りましたので、土屋先生にはひよこ組に入ってもらっています。

現在、1月から新井先生、羽立先生が入職して、人員配置にもようやくゆとりが生まれ、園全体でフリーとして動ける職員がいることで、保育に支障がないように努めております。

これまでを振り返りますと、起きてしまった事態に対して、園から、私からの説明が、本当に不十分であったと責任を感じております。現在は、これまでのことを踏まえて、保育士同士のコミュニケーションを密にして、新たに気持ちを一つにして、より良い保育を進めてまいりたいと考えております。以上が経緯となります。

続けて、資料2「今後の職員体制の見込み」について説明します。

現在、今年度末で退職予定の職員は数名いますが、産休明けで戻ってくる職員もいます。採用活動も終わっており、職員体制には見通しが立っております。しかし、新しい職員が増えることで、公立園での引継ぎを受けたことについての取り組みを強化していかなければならないと考えております。

引継ぎ資料を基にしながら、園内研修を積極的に行って、公立園での引継ぎ事項を大切にしていきたいと考えております。また、保護者の方からも希望がありまして、今年度は卒園式後に、退職者、入職者も事前に公表したいと考えております。

続けて資料の3「途中退職者を出さないための取り組み」について説明します。

やはり課題となっていたコミュニケーション不足や共有意識のずれの解消を強化していく必要があると考えております。幸いなことに、新型コロナウイルスへの

対応も、今年の春から5類に引き下げることが決定されましたので、保育では大きなメリットがあります。それは、私も大切にしていきたいと考えている、異年齢保育の関わりです。これまでは、やはりクラス別で保育を強いられることがすごく多かったので、先生たちも自分で自分のクラスを何とかしなきゃいけないという意識がすごく強かったと思います。

しかし、新型コロナウイルスへの対策が緩和されることで、他のクラスと一緒に保育ができますし、子供たち同士も交流することができます。また、その中で、先生も一緒に交流することもできます。そういったことが一番大きなことだと思っていますので、積極的に異年齢保育はやっていきたいと思っています。

また、現在も取り組んでいる15分会議などにも積極的に力を入れながら、コミュニケーションを密にしていきたいと思っています。同時に、個人の仕事量について、全体のことを増やせば個人の負担が増えるとなると、やはり元に戻ってしまいますので、その辺のバランスは非常に大事にして、しっかりと考えていきたいと思っています。

最後に資料の4「人材育成による保育の質の向上」について説明します。

保育士はもちろん、専門的な知識や技術も必要ですが、私は何よりも、その人の人間性が大切であると考えております。私は、日々子供と関わりながら、本当にそれぞれの子供らしさが輝いているときに、育てているなとすごく感じます。それは大人である保育士も一緒だと思っています。子供たちの一生のうちの1年間を担当するわけですから、その1年間は担任の先生の長所、持ち味を十分に発揮してもらって、それが子供に吸収されるようにすること、それが望ましいと考えております。

先ほども述べたように、職員同士が交流してコミュニケーションを密にすることで、互いの職員を褒め合うような環境づくりに努めたいと思っています。それは、先輩から学ぶというような上下関係ではなくて、全員が同じ立場で横並びになってお互いを認め合うような関係づくりです。この辺りは時間がかかるかもしれませんが、丁寧に作り上げていきたいと思っています。

吹田市： 次に、吹田市から西山田保育園の保育状況についての確認内容を報告させていただきます。

吹田市： 職員体制について、職員が退職された後、先ほど難波園長がおっしゃられたように、一時的に体制が厳しかったことは園とも確認はしております。しかし、基本的なことになりますが、国の配置基準や民営化に際しての、クラスにおける配置基準は年間を通して充足しており、現在は職員の補充もできている状況です。

また、保育内容については、運動会を見せていただいた感想と、先日園を訪問し

て保育の様子を見させていただきましたので、その2点について報告させていただきます。

運動会には、引継ぎ職員でもあった高位元園長が訪問させていただきました。まず、3年ぶりに全クラス集まって運動会を実施されたことで、子供たちも本当に生き生きと取り組まれて、活気にあふれていると感じたということです。

各クラスの子供たちの当日の姿や、取り組んできた経過なども、丁寧にアナウンスしておられて、本当に分かりやすく、保護者の方々にも久しぶりに他のクラスの子供たちの姿を見ていただいて、応援したり、感動したりされているようだったと報告を受けています。また、保護者の方と職員の皆さんとのリレーも企画されて、楽しんでおられるのが印象的だったということです。以上の報告は、高位元園長から報告を受けたこととなります。

私自身の園での経験も踏まえて、保護者の方からのアンケートに対する御意見を見させていただいて感じたことは、行事の際、大きいクラスでは、いつもと違う雰囲気や環境の中で、すごく揺れる気持ちもあって、保育士としてその行事の当日に子供たちをフォローしていくことの難しさというのは、本当にこれまでも感じてきたところです。

高位元園長は、全体としては子供たち一人一人が一生懸命に取り組む姿が見られてよかったと言っていました。公立園でも同じですが、各クラス、各年齢ともに、日頃の遊びや取り組みも大切にしています。行事の日が到達点や最終的なゴールではなく、その後も遊びや取り組みは続きますので、これからも保護者の方々には、その日だけではなく、その後の取り組みや、子供たちの様子も含めて、引き続き温かい目で見させていただきたいと思います。公立園でも同様のことをお願いしています。

そして、1月18日（火曜日）に、私と高位元園長で園を訪問させていただいて保育の様子を見させていただきました。広い園庭で、5歳児のらいおん組は転がしドッチボールをしていて、4歳児のくま組は、砂場で大きな山を作っていて、子供たち皆が楽しそうに生き生きと遊んでいる姿が印象的でした。喧嘩をしていることもあったのですが、すぐに先生に伝えて、話をしてお互い分かり合っていました。長い時間ではなかったのですが、子供たちの様子がよく分かりました。

乳児については、1歳児クラスに入らせていただいて、裏庭で遊んでいる様子を見させていただきました。追いかけてっこをされたり、葉っぱをちぎって穴に落としたりしていて、本当に楽しそうでした。

どのクラスも、子供たちがお友達と先生と本当に安心した関係を築いていて、その中で伸び伸び過ごされていると感じました。一人一人を大切にする保育をこれまでどおり大切にさせていただいていると感じたところです。

公立園でも、保育や子育てというものは保育園だけであるものではなく、保護者

の方と手をつないで一緒にさせていただくものになりますので、今後も気づかれたこととお話しただけならと思います。

吹田市： それでは、御意見や御質問、御要望があればお受けいたします。

保護者： 先ほど難波園長から、3歳児のさる組の新田先生が退職されたことについては、園児の不安をあおるという意味でも伝えていないということでしたが、それは現段階でも、まだ園児は先生が帰ってくると思っているのかどうかということについてお聞きします。

耕心会： クラスの子供たちにとっては、三上先生が担任になりましたよというような形で、改めて伝えてはいませんが、東先生がクラスを引っ張りながら、そこに三上先生がフォローに入っているという状況です。新田先生が退職したということは、子供たちは知っております。

保護者： 新たに入職された先生方について、こういった雇用形態であるのかお聞きします。アルバイトであるのか、派遣であるのか、それとも正規の職員として入職されているのかお聞きしたいと思います。

耕心会： それぞれ皆さん事情は違いますが、主に派遣で手伝いに来てもらっていますので非正規になります。大体年度末までの契約になっていることが多いのですが、中でもまだ続けたい意思を示してくださっている方については今後、働き方を見ながら正規として雇っていくというようなことも考えております。

保護者： これから正規職員をきっちり増やしていくことについて、派遣だと限りがあったりするのですが、新たに入ってきて、また引継ぎが生じる形になっていくかと思うので、長く働いていただける方を増やしていくということでしょうか。

耕心会： 御指摘はおっしゃるとおりだと思っています。

やはり、長く勤めていただいて、公立園の良さも分かっていたら、保育を進めていくことが大事だと思っておりますので、私たちも単に補充であるというようには、簡単には考えていませんので、本当に長く一緒に働いてくれる職員を大事に考えたいと思っております。

保護者： 分かりました。ありがとうございます。

保護者： いろいろと御説明いただき、ありがとうございました。保育の状況がすごくよく分かりました。また、今後の見通しもしっかり説明していただいて、とても安心したところです。

今の説明の中で、公立園のことを引き継いで、職員間で共有するという話が出ていましたが、保護者会でも、やはり次の役員会の方に、今年はこのことを話したということをしっかりと引き継いで、お互いに共有しながら進めていけたらいいと思っておりますので、今後もよろしく願いいたします。

4 セキュリティ、夏祭りについて意見交換

吹田市： 昨年、保護者会の方でアンケートを実施していただいた結果、御意見の多かったものとして、園のセキュリティについて、現状のままでは不測の事態に対応できるか心配するお声や、夏祭り等について、保護者の方の負担が大きいのではないかとというお声をいただいております。

これらの点について、今後どのように対応していくのか、この場で御意見を交換させていただくことができると考えております。

耕心会： 今、セキュリティについて現段階で考えていることをお伝えします。

再来年度 ICT化を考えております。また、来年度から、同じ法人内でも ICT化が始まりますので、その動向や、効果、大変さなども見ながら、西山田保育園としては再来年に導入したいと考えております。

具体的には IC チップが入ったものをかざして登園、降園の管理ができるようになるので、保護者の方にとっても、システムの導入ですごく楽になるかと思いません。

来年度に関しましては、まずは名札の導入から始められないかと思っています。保護者の方からも御意見がありまして、やはりいくら顔なじみであったとしても、実際に立ってくださっている安全管理員の方が素通りで人を通していたら意味がないと思うので、園の関係者と分かるものをきちんと示していただいた上で、登降園の管理ができれば、問題を一つクリアできることになると考えております。

再来年の ICT化については、今、お便りについても御意見をいただいている、迎えに来られた時に見にくいという問題もあるので、ネットをうまく活用しながら、園での様子を写真や文字にして、メールで配信するシステムも使っていきたいと思っていますので、どんどん保育が見えるように、また、私たちが日々やっていることを見ていただく機会を作っていきたいと考えております。

保護者： 分かっている範囲で教えていただきたいのですが、その ICT化について、玄関

の門ごと変わるのか、門では職員が立っている形で、どのように変わるのか、分かっていたら教えてください。

耕心会： 簡単に言いますと、門そのものは変わらない形になります。皆さんが持っておられるICカードで登降園の管理ができる形になります。玄関の入口で、カードを持っていることを職員や安全管理員が目視することで、不審者の対応も含めて実施できることとなります。登降園の確認について、お子さんがお休みをされているのか、来ていないのか分からない時など、確実に登降園の把握ができますので、来られていなければ電話で確認を取るなりして、登降園の確認ができるということになります。

園の中にタッチパネルのようなものを設置して、そこにカードをかざしていただくことを考えています。

保護者： 子供の受け渡しは今までどおりということでしょうか。

耕心会： そうですね。それでどこまでセキュリティが上がるのかと言われる部分はあるかと思っていますので、今すぐにできることは、安全管理員さんにも繰り返し声をかけさせてもらっているのですが、すぐ目の前は道路ですので、やはり飛び出しは危険であるといったことはもっと意識してもらいたいと思っています。また、私たちも、安全管理員さんに言ったから、あとはお願いしますというだけでは駄目だと思っていますので、私も極力、立てるときは一緒に立って、より安全にするにはどうしたらいいかということは、これからも考えていく必要があると思っています。

保護者： 以前、今年度の意見として、先生方がいないときに、保護者会でホールを使わせていただく際のセキュリティについて、西山田保育園では各クラスの教室に鍵がついていないので、その辺りはちょっと心配だということがありました。使わせていただく保護者も不安があるということは認識していて、南京錠をつけるなど、そういった対応ができたらいいのではないかとこの話を今年度しておりました。

それは難波園長にもお話をさせていただいたとおりで、今後、また御相談させていただきたいと思います。保護者会で、実際できるかどうか分かりませんが、予算面の補助、支援について、保護者でもきちんと考えていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

吹田市： それでは、御意見を踏まえて引き続き、検討を進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

5 アンケートに対する回答

吹田市： 保護者会の方で実施していただいたアンケートに対する回答について、参考資料2のとおり配付させていただいております。アンケートの御意見については、非常に多岐にわたるものであったため、その趣旨を市で要約させていただき、取りまとめた上で回答を作成させていただいております。

また、保護者会に対する御意見については今後、保護者会の中で御検討いただきたいと考えておりますので、併せて御了承いただきますようお願いいたします。

時間の制約もありますので、本日の三者懇談会での詳細な説明は省略させていただきますが、内容について御確認いただきますようお願いいたします。

吹田市： それでは、全体を通して何か御意見があればお願いいたします。

保護者： 夏祭りのことでお伺いします。

去年の6月に転入して、今年初めて、夏祭りを経験しました。すごく楽しかったし、子供も喜んでいました。個人的な意見ですが、その準備や企画、園の先生たちとのやり取りについては結構大変だと思っていて、当日も、さる組以上の子供は結構時間が遅くなって暗くても楽しくしていたと思います。

ひよこ組くらいの子供たちは、寝てしまっていて、家で過ごしていたらお布団で寝ることができるのに、夜空の下で過ごしていて、かわいそうだなと思うことがあって、ひよこ組のお母さんの中でも夏祭り委員だからということで、その寝ている子供を預けて片付けをしていました。

開催の意義はあると思うのですが、やり方については、いろんな年齢の子供がいるのが保育園なので、小さい子供たちに負担が偏るのはどうなのかと正直思ったところでした。

運動会のように、園の主催でやった上で、例えば保護者が出店を一つ出すとか、希望される方が率先してやるというような形にできないのかなと思いました。

園としてはどう考えておられるのか聞かせください。

耕心会： 名称は秋祭りになりましたが、この3年間でやっとできた夏祭りで、私としては、できてよかったと感じています。何よりもコロナ禍の中で、つながりたいという気持ちがあつたのに、制限されて、何か分断されているような感じがあつたので、一緒にできたということは、すごく大きな成果の一つであると思っています。

ただ一方で、保護者の方の思いを聞くと、負担であったという御意見も聞きますので、もう園主催でお願いしますと言われたら、それでもいいかなと思っています。

僕自身は、子供たちのためにこんなことをやってあげたいということに関して、どちらかというところ積極的にやっていきたいので、そこにボランティアという形で保護者の方が入っていただいても可能かと思います。ただ、公立園で大事にされてきたこともやっぱりあると思うので、みんなでやるからこそいいということも、思いとしてはすごく分かります。

その辺りも含めて、全部僕が決めるわけにはいけないと思うので、保護者会の方と協議しながら、どういうふうに進めたら一番いい形になるのか考えていきたいという気持ちはあります。

保護者： この前、確認の会をさせていただいた時に、自分のクラスの担任以外の先生がお迎えに行った時に担当して下さっていることがあって、それはどういう意図があるのか確認させていただきました。

特に何かそれに対して不満があるといったことではなくて、話していただいた内容がとても良く分かったので、もしよければ、もう一度お話ししたいと思います。

耕心会： 基本的に午後5時までは、現担任がクラスで保育する形になりますが、5時を過ぎて当番時間になった時、遅番の先生がいますので先生たちの配置が変わります。本来3歳児のクラスなのに自分のクラスを離れて、4月からいきなり、当番時間に1歳児クラスに行くとなれば、子供たちも不安になるし、保護者の方もお迎えに来たのに違う先生がいるとなると戸惑うと思ったので、前期はできる限り、同じクラスで過ごすように心がけていました。

後期になって、大分関係ができてきたので変えようかということになって、本来、そのまま2歳児クラスで過ごすはずですが、当番の時間になったら、4歳児クラスに上がってもらうことにしました。これは何がいいかというと、やはり交流の一つであることだと思っています。職員も、西山田保育園の子供たちは、みんなでみたいという意識がすごくあるんです。クラスで担任だけのものにしたら、やっぱりしんどくなると思います。子供たちにとっても、担任だけじゃなくて、櫻井先生のことも大好きとか、三好先生のことよく知っているとか、そういった機会がすごく大事だと思っていますので、実際の保育では、当番で人を入れ替わってもらっています。

耕心会： 当番時間に違うクラスに入ると、子供たちからは、この先生は知らないということが最初はありましたが、そういった中でも関係を作って、この先生だったらこの絵本を読んでくれる、この先生だったらこんな遊びをしてくれるということで、関係を作っていきました。それをまた担任に対して、子供たちと当番時間にこんなこ

とをしたと話をしました。あとは当番の時間は、やはり担任がいない不安な中で、けがであったりとか、体調であったりとか、今日こんなことを頑張っていたということも共有して、お迎えに来られた保護者に説明をしています。そこで関係も作っていきますし、子供の姿について、職員同士での共有もできるということは、実感としてあります。

保護者： 今日の説明を聞かせていただいて、これまでの経過とか、いろいろ園であったことはすごくよく分かりましたし、それを全部教えていただいて、私どももすごく安心しました。先生方と今後また協力しながら、一緒に西山田保育園を作り上げていけたらと思っております。

保護者会でも、認識や意識の共有をしっかりとしないといけないということもありますし、日頃大変な中で、子供たちを毎日見ていただいているということに関しては、保護者からは、もう本当に感謝しかありません。

私個人の意見になってしまいますが、民営化した時に、私自身も公立園に娘を入れたかったので1年だけでもと思って西山田保育園を選ばせていただいた経緯があるのですが、公立園でよかったということも、もちろんあると思いますが、現在、耕心会の方でされている保育を見ていて、別に悪いとも思いませんし、本当に先生方は一生懸命やっけていただいていると感じています。

民営化するに当たって、三者懇談会を何回も開いて、いろんなことが決まったと思うのですが、民営化する時に、公立園と同じことを引き継ぐのは、正直に言うところ無茶ではないかと私自身は思っています。そもそも運営している母体が違うのに、全く同じことをするという点について、どれだけ大変かということは、今年1年、先生方、特に難波園長とお話させていただいて、本当に大変な中でやっていただいていると感じました。そこについては私の責任として、保護者の皆様にもきちんとお伝えしていきたいと思っておりますし、今後も先生方とより良い関係を作りながら、保護者会として、保育園をしっかりと見守って、一緒に協力しながら作り上げていくということで、頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひ今後とも、子供たちのことをよろしく願いいたします。

今日は本当にありがとうございました。

耕心会： 御容赦いただければと思いますが、民間移管園は通常の保育園とは少し性質が違おうと思います。通常の保育と引継ぎ保育の両方の観点を持ちながら日々の保育に取り組んでいくので、先生同士のより丁寧なコミュニケーションが大切になります。

例えば、保育の進め方においても、各クラスの先生たちのやりたいという思いがありますが、やはり公立園として大事にされてきたことの観点も必要ですので、そ

れが悪い意味ではなくて、良い部分を取って、話し合いながら進めていくということが必要だと思います。

行事について、運動会の演目を例に挙げると、やはり公立園が意図を持って大事にされてきたことがありますので、それを初めて知る先生もいますし、それで保育の幅が広がってつながることもあると思います。それをするにはコミュニケーションが重要で、普段から話をしやすい関係を作っておくことがすごく大切だと思います。

職員同士のコミュニケーションも必要ですが、やはり管理職の先生たちがその隙間を埋めてあげたり、先生のいいところを見つけてあげたりなど、お互いが話しやすい環境を作ることがとても大事だと思います。

それに加えて、やはり昨今の保育を取り巻く問題があります。バスの置き去りだったり、虐待の問題だったり、現場の保育士を見る目はとても厳しく、いろんな角度で見られてしまうと感じていますので、先生方のお話になって恐縮ですが、毎日現場で頑張っている保育士の先生、看護師の先生、栄養士や給食室の先生、そしてパートの先生、西山田保育園のすべての先生たちが、日々神経をすり減らして、子供たちのために保育と向き合っているということがあります。

本日の会議はZOOMで見ることが出来ますので職員も見せていまして、本当にありがたいという思いがありますので、この場を借りて感謝を申し上げたいと思います。

繰り返しになりますが、職員間の内側のコミュニケーションはもとより、保護者の皆様や、公立園の運営をしてくださっている吹田市の方々とも、外側のコミュニケーションも大切に、しっかり話し合いをしながら進めたいと思います。今回の件も問題が起こった際に丁寧な説明があれば、もう少し状況が変わっていたのではないかと思います。そのことを意識したうえで、アドバイスや、お力をお借りしながら、園の運営を進めるようにいたします。引き続き、お気づきのこと、細かいことでも何かありましたら声をかけていただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

耕心会： 本日は遅い時間にお集まりいただきまして、ありがとうございました。

本日の三者懇談会を通して、私も感じたのは、起きてしまったことは、本当に申し訳ありませんが、もう変えることができない部分ではありますが、やはりそこで見えてきたものがしっかりとありますので、そこは絶対に見直していけるころだと思っていますので、ぜひ力を入れてやっていきたいと思っています。

これからも忌憚のない御意見をいただき、私も、どうしようと困った時には、保

護者の方が言ってくくださったように、しっかり相談をして、一緒に進んでいくということが、やはり大きなポイントであると思われましたので、まだまだ未熟ではございますが、力を貸していただければと思っております。これからもからもどうぞよろしくをお願いします。

6 閉会

吹田市： 本日は終了時刻を過ぎておりますので、これで三者懇談会を終了いたします。御参加いただき、ありがとうございました。